



FUJI OOZX Inc.

フジオーゼックス株式会社

2023年3月期 決算説明資料

2023年5月9日

証券コード
7299

目次

1. 会社概要・事業概要
2. 2023年3月期決算概要
3. 2024年3月期通期見通し
4. 中期経営計画の進捗
5. SDGsへの取り組み



会社概要・事業概要

会社概要

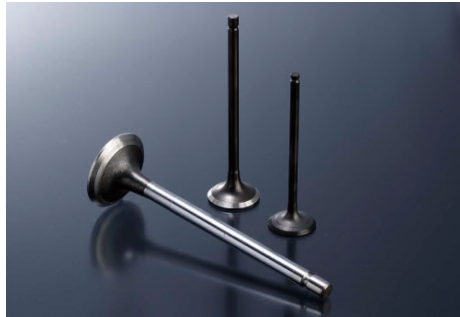


－ 独立系のエンジンバルブ最大手

会社名	フジオーゼックス株式会社 FUJI OOZX INC.
市場・証券コード	東京証券取引所スタンダード市場・証券コード7299
本社	本社・静岡工場 静岡県菊川市三沢1500-60 <菊川工業団地>
資本金	30億1,864万円（2023年3月末現在）
業績	売上高：216億円 営業利益：8.7億円（2023年3月末実績）
従業員数	（連結）1,104名（個別）562名（2023年3月末現在）
創業	1952年 6月
主な事業内容	・ 各種エンジンバルブその他エンジン関連部品商品、自動車部品の製作及び販売 ・ 鋼材の加工及び加工製品の販売 ・ 工作機械の売買、修理、賃貸借及び据付工事請負
大株主	大同特殊鋼(株) 大同興業(株)

事業概要

- エンジンバルブのトップメーカーとしてシェア約37%（当社調べ）
- 取引先は自動車、二輪、建機、農機、船舶
- 親会社の大同特殊鋼株式会社との共同開発による材料や自社開発の設備、高い技術力により常にエンジンの進化に貢献する製品を提供



エンジンバルブ



中空バルブ



リテーナ

主要得意先（50音順）

■自動車

いすゞ自動車（株）	マツダ（株）
スズキ（株）	三菱自動車工業（株）
（株）SUBARU	三菱ふそう
トヨタ自動車（株）	トラック・バス（株）
日産自動車（株）	Mercedes-Benz AG
日野自動車（株）	UDトラックス（株）
本田技研工業（株）	ルノー

■二輪車

川崎重工業（株）
スズキ（株）
本田技研工業（株）
ヤマハ発動機（株）

■産機・建機・農機

井関農機（株）
クボタ（株）
（株）小松製作所
三菱重工業（株）
ヤンマー（株）
GENERAC

■船舶

（株）IHI原動機
（株）赤阪鐵工所
川崎重工業（株）
JFEエンジニアリング（株）
ダイハツディーゼル（株）
阪神内燃機工業（株）
三菱重工業（株）

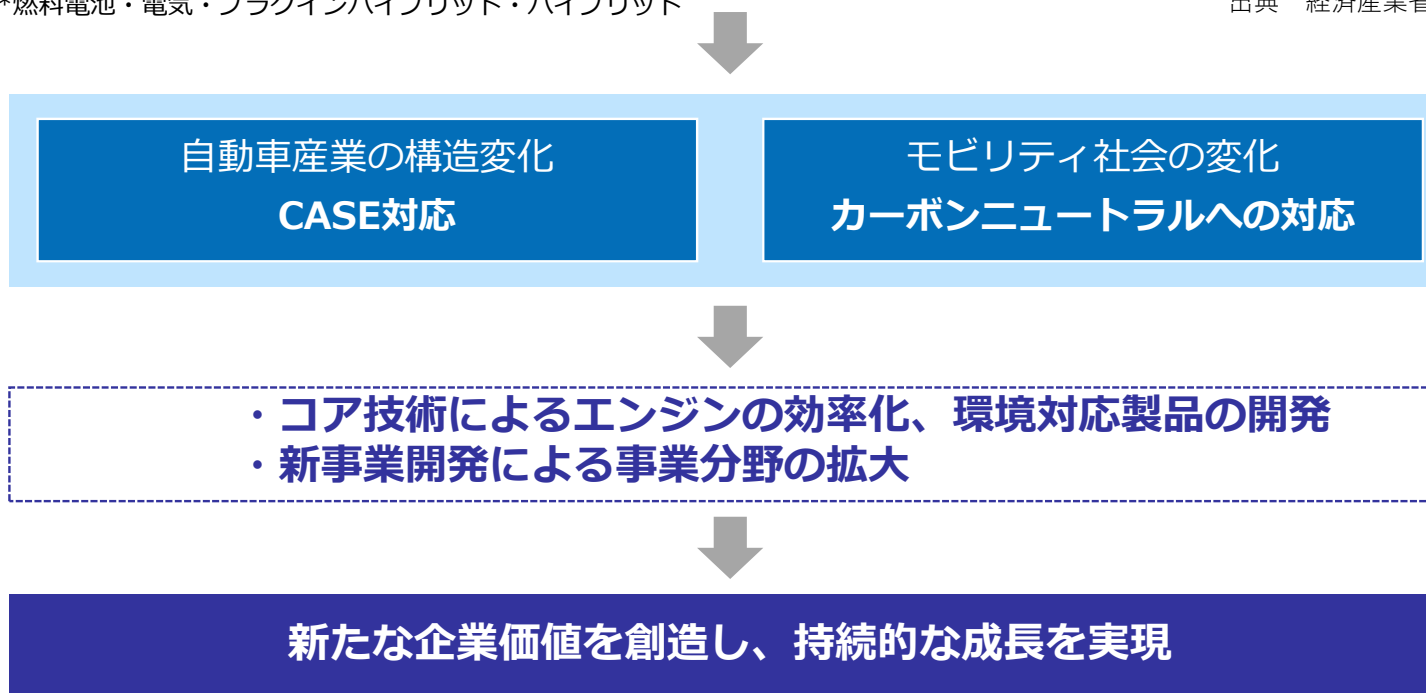
（赤字は
海外メーカー）

自動車販売台数 需要拡大見込み

	2020年		2030年
新車世界販売台数	0.8億台	+54%	1.2億台
うち電動車率*	15%	+17%	32%

*燃料電池・電気・プラグインハイブリッド・ハイブリッド

出典 経済産業省





2023年3月期 決算概要

業績ハイライト

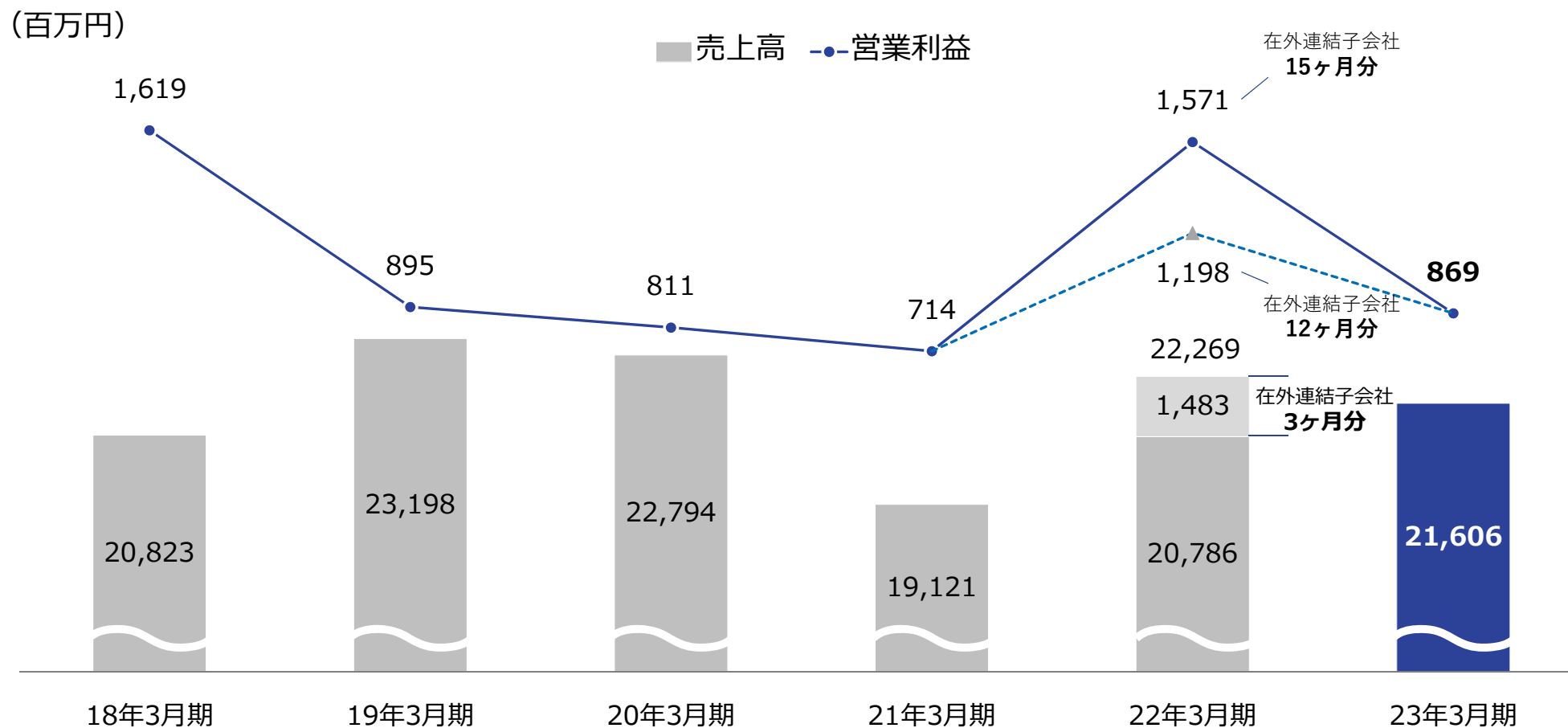
- 売上高：前期の決算期統一影響により前期比△3%の減収（21年4月～22年3月分との比較で+4%の増収）
- 営業利益：前期の決算期統一影響および資源価格の上昇により前期比△45%の減益（21年4月～22年3月分との比較で△27%の減益）

この比較で△27%の減益)			在外連結子会社を 12ヶ月決算とした場合		在外連結子会社を 12ヶ月決算とした場合 との比較	
(百万円)	22年3月期	＜参考＞ 21年4月～22年3月分	23年3月期	前期比	＜参考＞ 21年4月～22年3月分 との比較	
売上高	22,269	20,786	21,606	△663	+820	
営業利益	1,571	1,198	869	△701	△329	
営業利益率	7.1%	5.8%	4.0%	△3.0%	△1.8%	
経常利益	1,784	1,418	1,052	△733	△366	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	985	720	595	△390	△125	

※22年3月期3Qは決算期統一のため、在外連結子会社は12ヶ月決算となっております

売上高／営業利益 推移

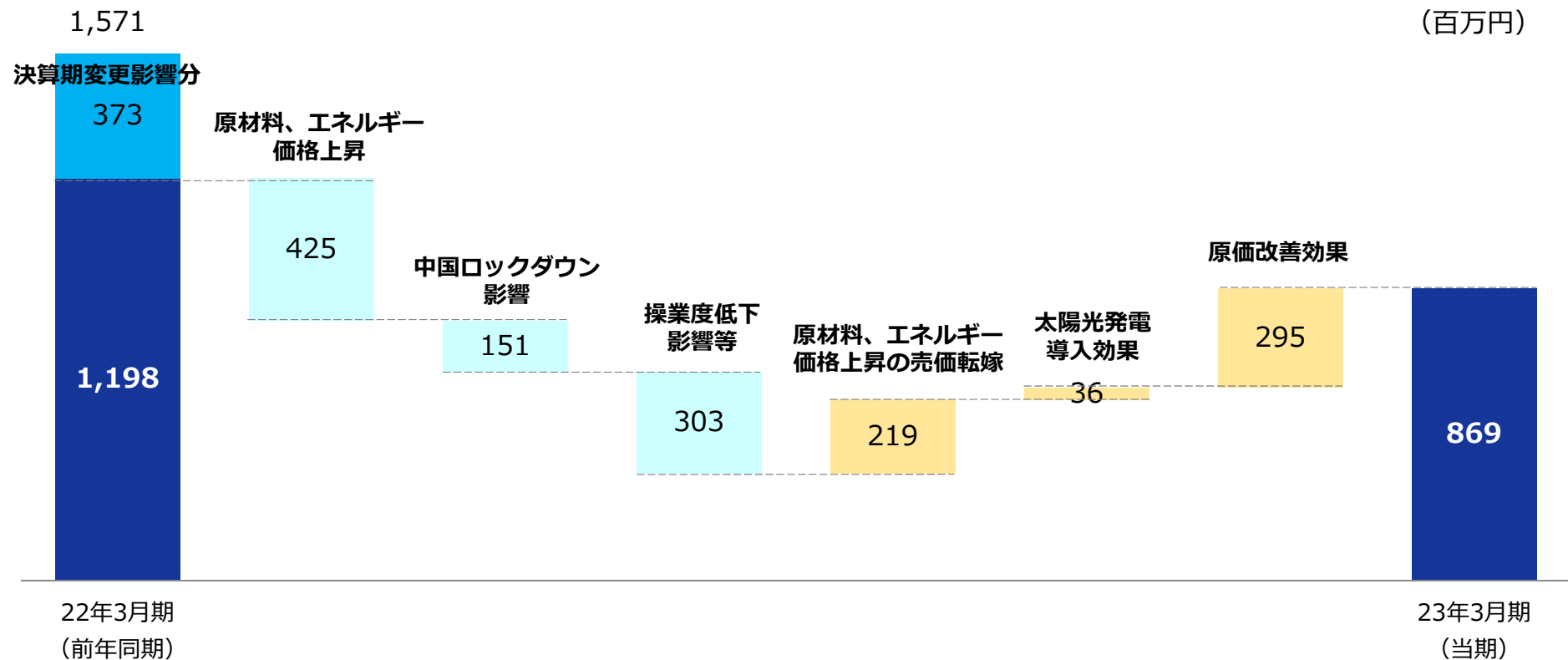
前期比で減収減益（前期の決算期統一影響を除くと実施的に増収減益）



※22年3月期は決算期統一のため、在外連結子会社は15ヶ月決算となっております

営業利益の変化要因（前年同期比）

- － 主な減益要因：決算期変更による影響、原材料・エネルギー価格上昇、中国ロックダウン影響等
- － 主な増益要因：原材料・エネルギー価格上昇の売価転嫁、太陽光発電導入効果、原価改善効果等



バランスシートの状況

- 販売回復による売上債権増加の一方、借入金返済、棚卸資産圧縮により資産合計は434百万円減少
- 自己資本比率80.0%（前期末比2.4%改善）

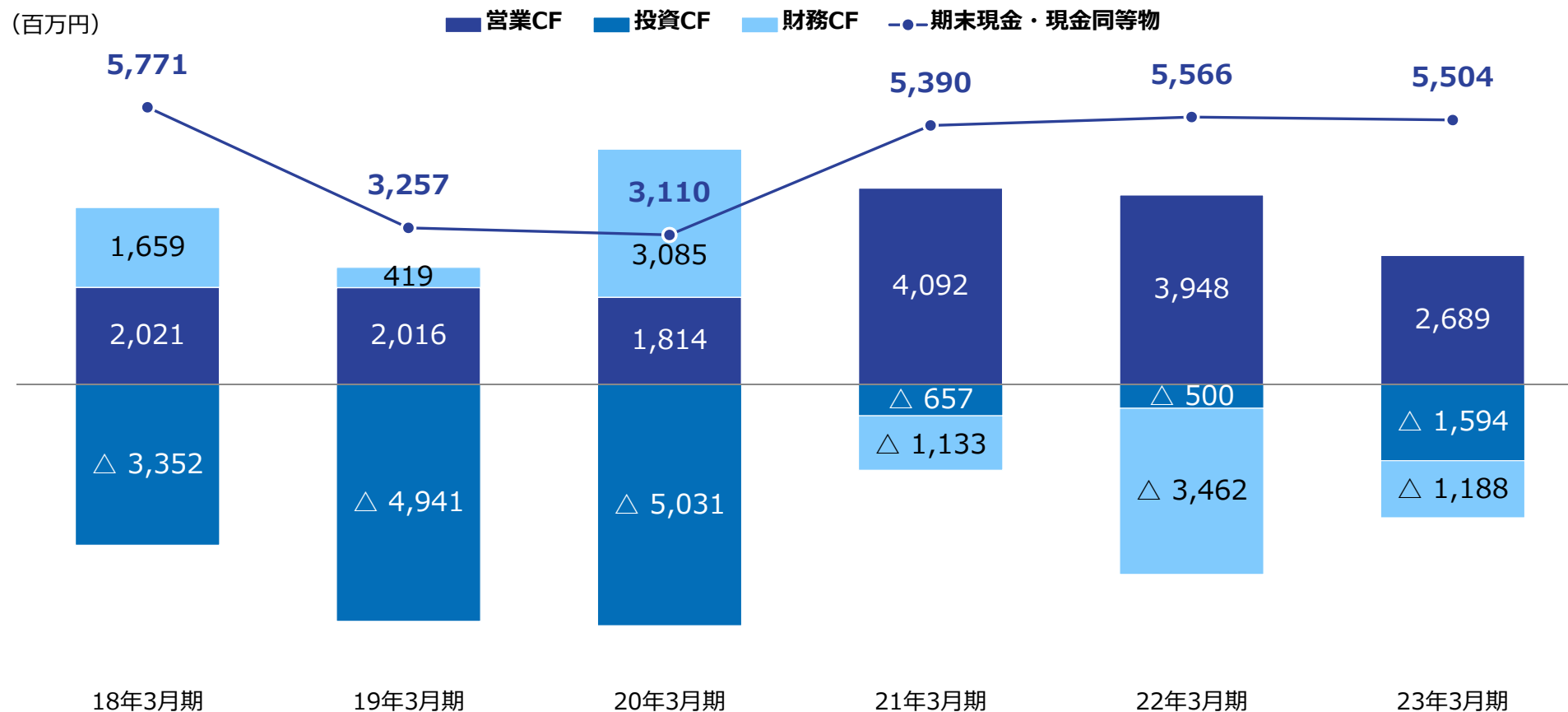
（百万円）

資産の部	22年3月末	23年3月末	増減額
流動資産	15,412	15,485	+73
現金及び預金	5,546	4,741	△805
売上債権	4,571	5,039	+467
△貸倒引当金	△7	△7	±0
棚卸資産	5,089	4,644	△445
その他	213	1,068	+855
固定資産	19,260	18,754	△506
有形固定資産	18,553	18,020	△534
無形固定資産	93	96	+3
投資その他の資産	613	638	+24
資産合計	34,672	34,239	△434

負債・純資産の部	22年3月末	23年3月末	増減額
流動負債	6,552	5,885	△666
仕入債務	2,164	2,309	+145
短期借入金	2,591	2,135	△456
一年以内返済予定 の長期借入金	297	220	△77
その他	1,500	1,222	△278
固定負債	759	488	△271
長期借入金	295	75	△220
その他	464	413	△51
負債合計	7,311	6,374	△937
純資産	27,362	27,865	+504
負債・純資産合計	34,672	34,239	△434

キャッシュフロー

- 当期純利益の減少などにより営業キャッシュフローが減少
- 借入金の返済実施、設備投資などにより現金・現金同等物は62百万円減少



※22年3月期は決算期統一のため、在外連結子会社は15ヶ月決算となっております



2024年3月期 業績見通し

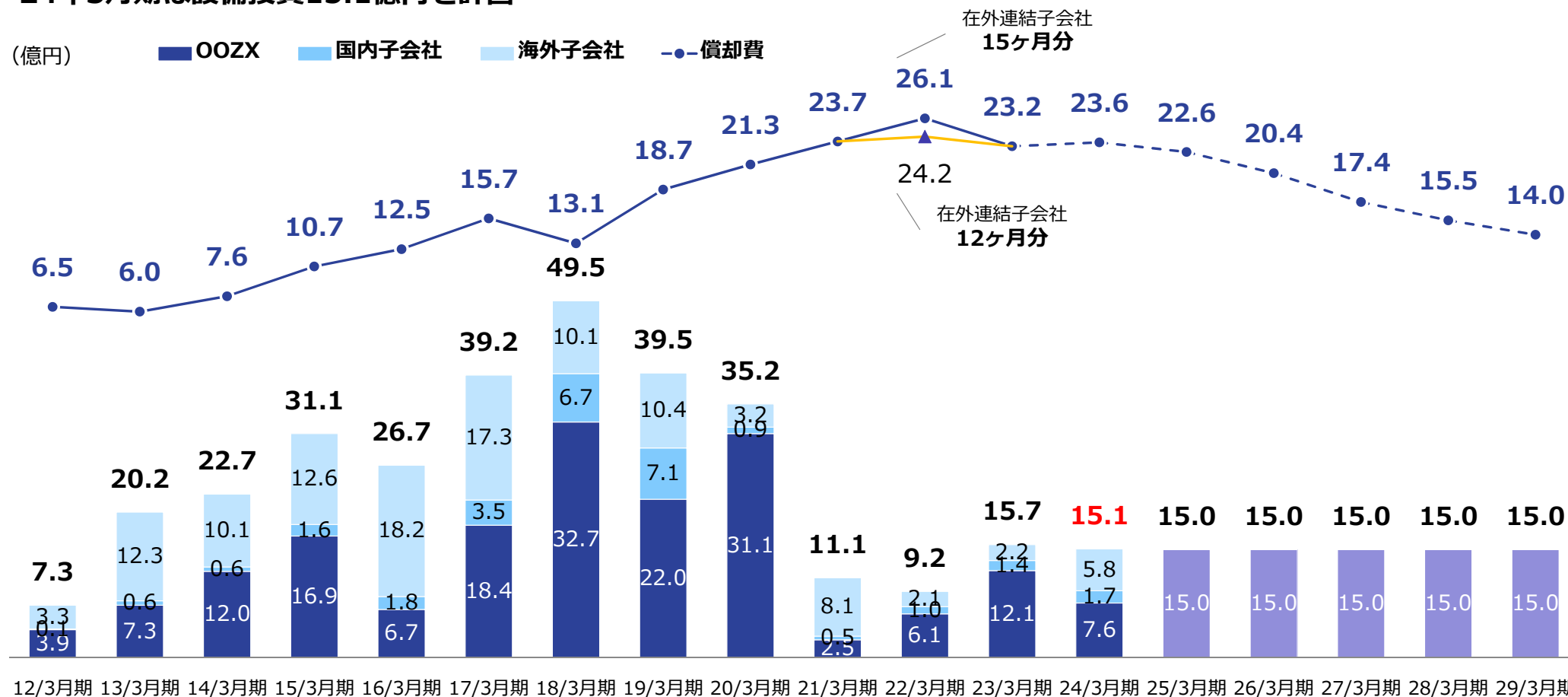
業績見通し ハイライト

- － 売上高 : 半導体不足は継続するも中国の販売回復により前期比+2%の増収
- － 営業利益 : 原材料・エネルギー価格の高止まりも製品価格転嫁により前期比+15%の増益

(百万円)	23年3月期	24年3月期	当期比
売上高	21,606	22,000	+394
営業利益	869	1,000	+131
営業利益率	4.0%	4.5%	+0.5%
経常利益	1,052	950	△102
親会社株主に帰属する 当期純利益	595	620	+25

設備投資／減価償却費

24年3月期は設備投資15.1億円を計画



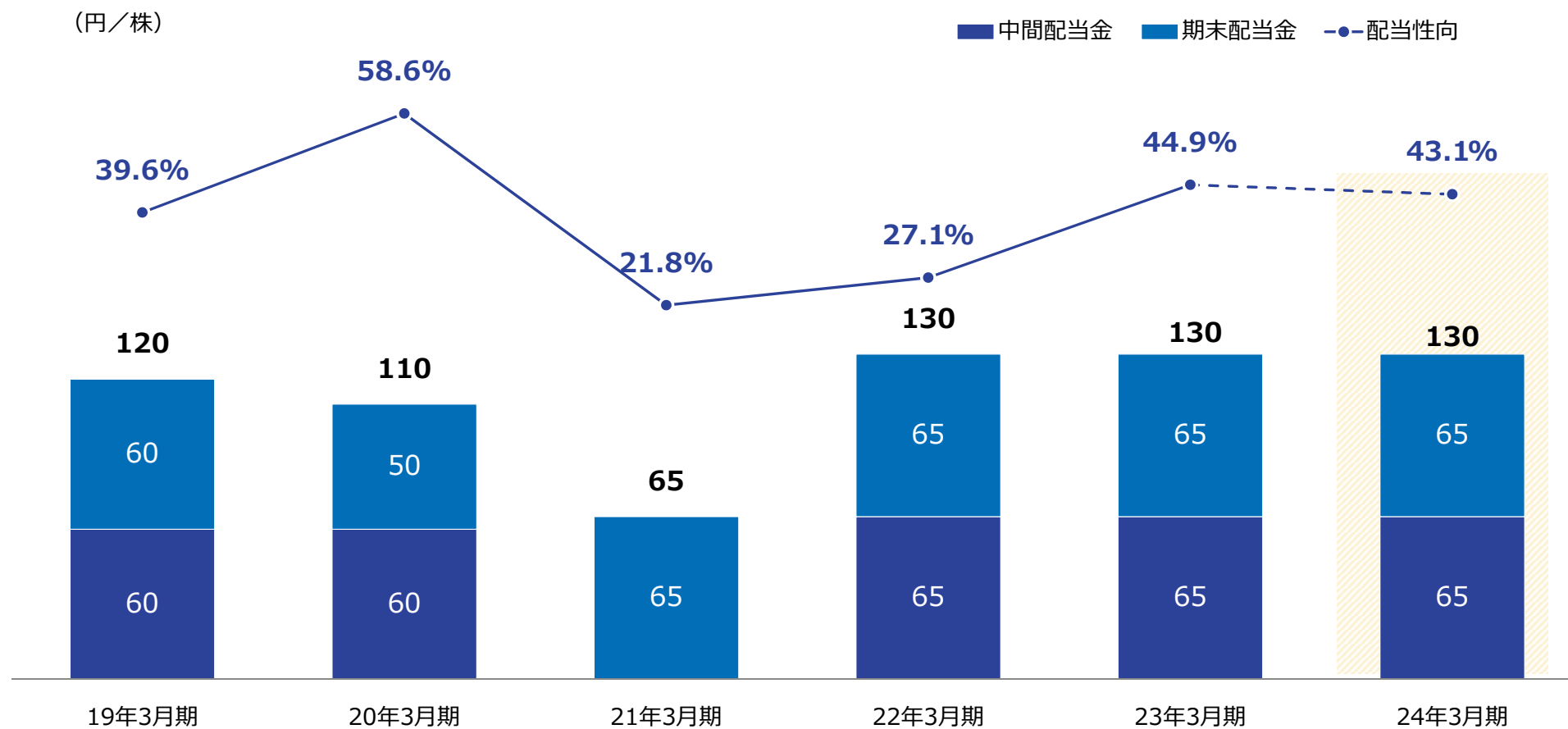
※1. 18年3月期に減価償却方法を定率法から定額法に変更

※2. 22年3月期は決算期統一のため、在外連結子会社は15ヶ月決算

※3. 25年3月期以降は年間15億円の設備投資を行った場合を想定

株主還元

- 配当性向30%以上を目標に収益力の向上及び財務体質の強化を図りながら、安定的かつ適正な利益還元を実施





中期経営計画の進捗

将来を見据えた事業構造改革

- ・ グローバル競争力強化に向けた骨太体質への変革
- ・ 新規事業の探索と成長へのステップ

中長期経営方針	活動状況	
自動車部品事業の安定収益確保	国内	効率的生産体制の追求による残存者利益の確保
	海外	欧米の自動車メーカー以外への拡販活動
新規事業のスタート及び基軸への成長	成長分野、シナジー効果が期待できる分野での探索 (M&Aを含む)	
効率経営推進による社会貢献	太陽光発電の設置・省エネ推進によるCO ₂ 排出量削減	

2023年中期経営計画 数値目標の進捗

- 23年3月期：半導体不足、中国でのロックダウン、原材料・エネルギーコストの高騰などの影響により売上高、営業利益ともに未達
- 24年3月期：半導体不足の継続、原材料・エネルギーコストの高止まりを想定
中国市場の回復、売価転嫁を見込むも売上高、営業利益ともに未達見込

(())内は中期経営企画目標値との比較)

(百万円)	21年3月期 実績	中期経営計画		
		22年3月期 実績	23年3月期 実績	24年3月期 予想
売上高	19,121	22,269 (△731)	21,606 (△394)	22,000 (△1,000)
営業利益	714	1,571 (△629)	869 (△1,531)	1,000 (△1,700)
営業利益率	4%	7% (△3%)	4% (△7%)	5% (△7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	614	985 (△365)	595 (△1,105)	620 (△1,280)
設備投資額	1,110	920 (△580)	1,570 (△430)	1,510 (△490)
連結配当性向	22%	27% (+7%)	45% (+15%)	43% (+13%)

※22年3月期は決算期統一のため、在外連結子会社は15ヶ月決算となっております

新分野 = N F (New Field) 3つのアプローチで探索

1. ターゲット **内燃機関部品以外の外販事業**

2. 売上目標 **13**億円/23年度 **100**億円/30年度

	項目	2022活動実績	2023活動計画
新分野	NF1 有望企業のM&A 外部提案	－ 企業評価実施 11社について評価実施→1社に絞り込み、 最終合意に向けて調査、交渉中	－ 最終合意 交渉中の1社について最終合意判断 更なる案件の発掘
	NF2 成長分野・シナジーを活かした事業化 社内企画提案	－ 新規事業具体案検討 医療、EV、カーボンニュートラル、 3Dプリンタ、地域貢献関連等	－ 新規事業具体案検討の継続 3Dプリンタ…治工具の試作・社内評価
	NF3 連結子会社関係	－ 新デイサービス事業所開設の決定 － ドローン事業参入の決定 － 移動コンビニ事業の拡大	－ 連結子会社との協業探索の継続 新デイサービス事業所運営開始 ドローン事業（太陽光パネル点検）の開始 農業事業の開始および拡大

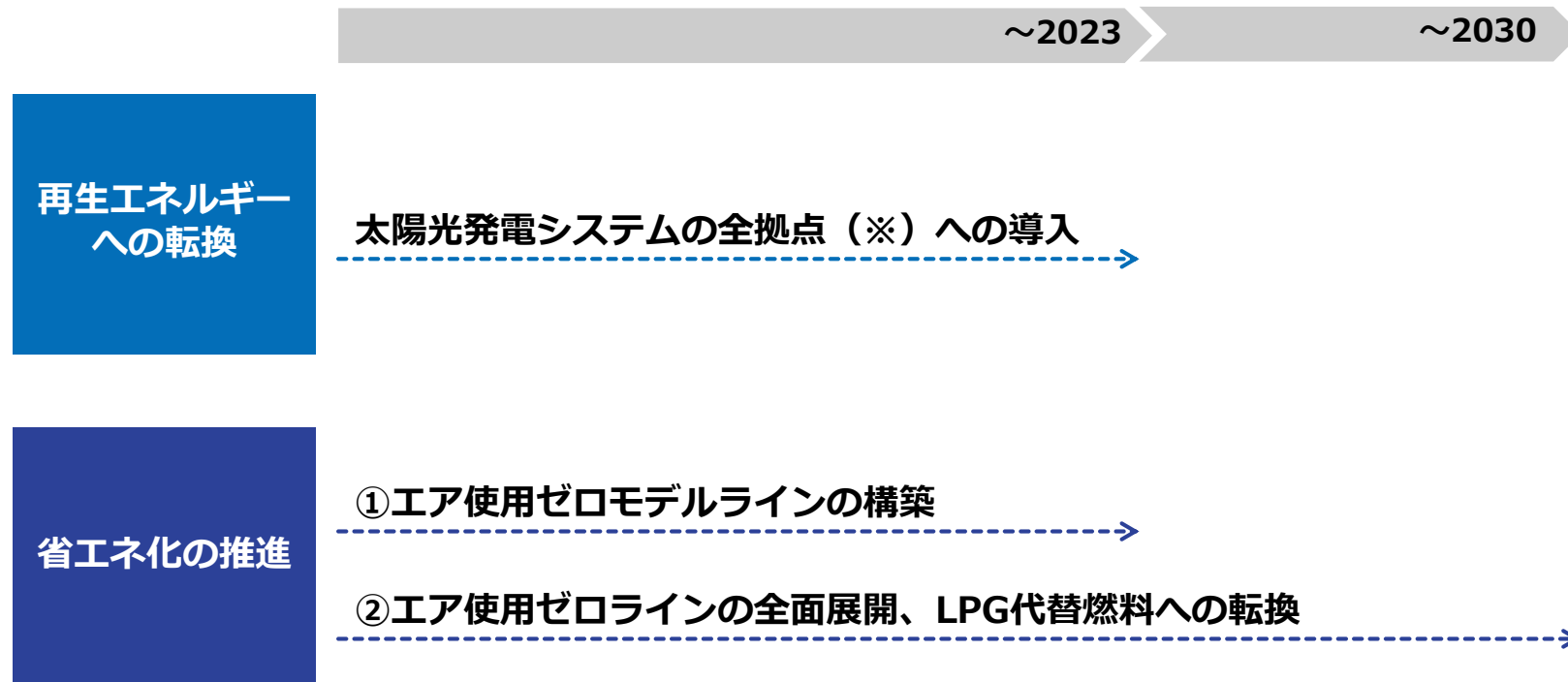


SDGsへの取り組み

カーボンニュートラルへの取り組み①

- CO2排出量の削減目標：
 - △20%（2023年まで）
 - △50%（2030年まで）

カーボンニュートラルに向けたロードマップ



※日本、中国、インドネシア、メキシコの4拠点

カーボンニュートラルへの取り組み②

— グループ全拠点に太陽光発電システム設置

900_{kW}
2022年2月～

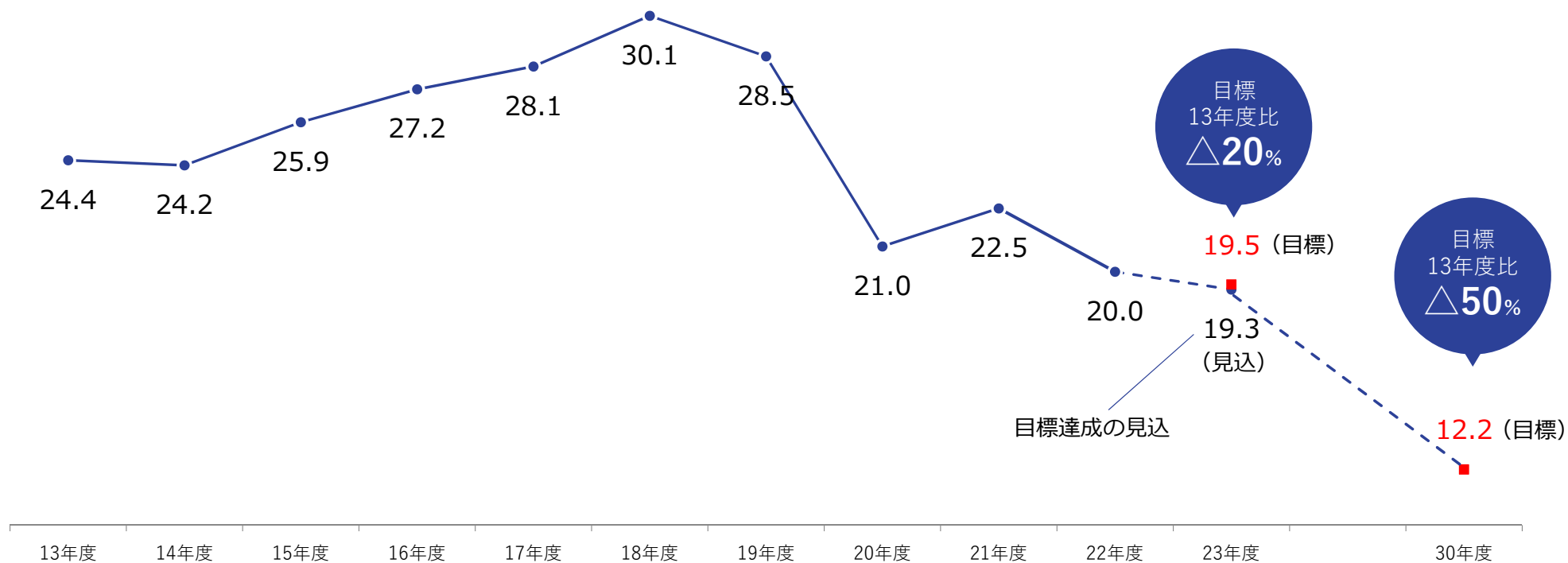
設置エリア拡大

グループ合計
5000_{kW}
を達成



CO₂排出量

CO₂排出量の推移（単体ベース）
（千t/年）



本資料に記載されております業績の見通し等の数値につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成しております。

今後発生する経営環境の変化等により実際の業績が大きく予想と異なる可能性がありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また、今後予告なしに見通し数値が変更されることがあります。

本資料の情報の使用による結果について、弊社は何ら責任を負うものではないのでご了承下さい。

お問合せ先

フジオーゼックス株式会社

経営企画部

TEL	0537-35-5847
E-mail	fuji@oozx.co.jp